

平成31年2月5日

報道機関各位

長岡市立山古志中学校長

復興のシンボル「古志のひまわり」の種で被災地支援 生徒が「古志のひまわり油」のチャリティー販売を依頼

山古志中学校3年生は、中越大震災の際、阪神淡路大震災の被災地から送られてきた「ひまわりの種」を育て、「中越大震災」復興のシンボルとして花を咲かせる「ひまわりプロジェクト」*を実施しています。

このたび、昨年度に引き続き、ひまわりの種を搾って作った「古志のひまわり油」の売り上げを被災地支援にあてようと、地域のお店に販売の協力を呼び掛けます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

復興のシンボル「古志のひまわり油」の販売を依頼

- | | | |
|-------|---|------------------|
| 1 日時等 | 2月8日(金) 16:00～ | あまやち会館(山古志中学校にて) |
| | 16:30～ | 古志高原スキー場 |
| | 17:00～ | 多菜田 |
| 2 参加者 | 山古志中学校3年生4人 | |
| 3 その他 | <ul style="list-style-type: none">・ひまわり油は、山古志小学校児童や地域住民も油しぼりやラベル張りなどの協力を行っていて、地域の「復興支援への感謝」の想いがこもっています。・1本500円で販売。売り上げは、長岡市社会福祉協議会山古志支部を通じて災害被災地の支援のため、寄付をします。 | |

※ひまわりプロジェクト

中越大震災の際、阪神大震災の被災地からひまわりの種が送られてきたことがきっかけ。

山古志中学校では、地域の方の協力をいただきながら、ひまわりを育て続けてきた。

2014年から「ひまわりプロジェクト」を始動。

2017年度から、ひまわりを「古志のひまわり」と名付け、今年度は、昨年度に引き続き地域の方と一緒にひまわりを育て、学校へ続く「ひまわりロード」の規模拡大に取り組んだ。

また、小学生や地域の方々にも収穫や油しぼり、ラベル貼りなどの協力を得て、地域との繋がりをより強くし、「古志のひまわり」を通して、地域を大切にす気持ちや復興への感謝の気持ちを養い、地域や災害被災地に自分たちの考えた活動で貢献できるよう取り組んでいる。

問い合わせ：長岡市立山古志中学校

TEL 0258-59-2172